

平成24年第4回定例会一般質問

平成24年第4回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 12月5日(水)・6日(木) いずれも午前10時から
(一人当たりの質問時間は、概ね40分以内です。なお、進行の具合により発言時間が異なることもございますので、あらかじめご了承ください。)

質問内容 下表のとおり

問合せ先 議会事務局(電話042-387-9947)

12月5日(水)

氏名	発言の表題
中山克己	1 Jアラートによる防災体制について (1) 前回試験の際の市の課題と再試験のテスト結果について (2) 他の自治体でみられた初歩的なミス等はなかったか (3) 今後のJアラートによる防災体制について期待される効果は
	2 図書・読書に興味を持ってもらえる企画展の開催を (1) 小金井市名誉市民宮崎駿監督の文化功労賞受賞を記念して、「宮崎駿が選んだ50冊の直筆推薦文展」を参考に、図書・読書に興味を持ってもらえる企画展を小金井市民交流センターで開催してはどうか
	3 市立図書館の改善を (1) 現状と改善策について (2) 斬新な発想でできるところから改善を (3) 他市の事例なども参考に (4) 市民ニーズに応え、効率的な運営を。今後についての方針は
	4 市の功労表彰を行わないか (1) 社会福祉功労・納税功労・消防功労の3つの分野で功労褒賞をしてはどうか
露口哲治	1 ココバス事業の充実を問う (1) 現在の課題について(運行ルート、時間)、野川七軒家循環の課題
	2 「武蔵小金井駅南口～羽田空港線」の新設について問う。3社で共同運行している「国分寺駅・府中駅・調布駅～羽田空港線」に平成24年10月1日(月)より新しい停留所として「武蔵小金井駅南口」が新設された (1) 小金井市への連絡はいつ、どんな連絡があって、市はどう対応したのか。交通安全推進協議会での報告はあったのか (2) 安全面での対応は十分か
	3 福祉会館の建て替え計画は (1) 耐震診断結果を踏まえての計画は (2) 財政的負担は
	4 防犯カメラ設置の進捗を問う
小林正樹	1 通学路の安全対策について (1) 文部科学省への報告内容は (2) 通学路安全対策アドバイザーの設置について (3) 今後の小金井市教育委員会の通学路耐震化方針を問う
	2 公園遊具の選定方法について (1) 遊具の設置状況を問う (2) 遊具の設置基準、置換え基準について (3) 公園での事故への対応は
青木ひかる	1 在宅介護を支えるために、ショートステイの増床を (1) 老人ホームの誘致について、現状はどうか (2) 新施設建設時には余裕のあるショートステイ枠を確保すべきだ

宮下誠	1 リサイクル対策の推進について (1) 使用済み小型電子機器の回収を積極的に進め、「都市鉱山」の発掘に協力しないか。また、その際、国の財政支援なども積極的に活用できるよう工夫しないか (2) 世田谷区の取り組みなどを参考に、資源ごみの持ち去りを禁止する条例をつくらないか
	2 青少年のキャリア教育の充実について (1) 実社会との本格的な接点となる中学生の職場体験について、その受け入れ先を、より多様化し、充実させていかないか (2) 市役所内での仕事をはじめ、ごみ収集作業など委託業者が受けている仕事や、シルバー人材センターが請け負った様々な仕事、総合体育館・栗山公園健康運動センター・市民交流センターで指定管理者がおこなっている仕事などについて、職場体験の受け入れ先として、市が先頭を切って拡大推進していかないか (3) 将来を見据え、市・市教育委員会・PTA・商工会議所などが共に手を携えて、青少年のキャリア教育の環境を整えていかないか
関根優司	1 年少扶養控除廃止による負担増は国の通知に従い行わないこと (1) 保育料 (2) 学童保育育成料
	2 小学校給食の民間委託はやめよ
水上洋志	1 特別養護老人ホームの増設を求める (1) 入所待機者の現状と特養ホーム増設にむけた現在の状況について (2) 国有地の活用などで特養ホームの増設を
	2 よりよい介護保険制度のために (1) ヘルパー派遣時間短縮などのこの間の改定の見直しの現状について (2) 利用者へのサービス低下にならないための努力、改善を求める

12月6日(木)

板倉真也	1 市内中小企業の育成めざした公共事業の発注方式を (1) 「分離発注」「JV発注」「総合評価方式」の使い分けの基準はなにか (2) 格付け工事の入札で「Dランク以上」や「B～Dランク」などの使い分けがされているが、使い分けを行なう基準はなにか (3) 総合評価方式が本格実施に至らない理由はなにか (4) 2009年4月に国土交通省が改定した最低制限価格率に改めよ (5) 公契約条例の制定に向けた課題はなにか。制定までにどのような取り組みを行なうのか。条例の議会提案までのスケジュールを明確にせよ (6) 住宅マスタープランで「住宅リフォーム助成の創設」を「後期」の計画に位置付けたのは何故か
	1 子どもの幸福を実現するために不登校の児童、生徒をつくらない取り組みを不登校の原因は多岐にわたっている。不登校となっている児童や生徒、家庭へのサポート体制のさらなる充実を (1) スクールカウンセラーの配置状況と相談数、相談内容は。情報の共有や、引き継ぎ等はスムーズに行われているのか。保護者に対する相談や指導は十分か (2) 不登校指導のもくせい教室の利用状況はどうか。もくせい教室にも通えない子どもへのサポート体制はどうか。訪問ボランティアの活用等で、子どもの可能性を拓く取り組みを (3) 不登校の子供を持つ家庭へのサポート体制は整っているか。スクールソーシャルワーカーとの関わりは。学校ごとに、保護者同士で情報交換できる場所が設置されるべき
渡辺ふき子	2 市内の公民館や集会施設の和室利用について (1) 障がい者や高齢者等にも使いやすい工夫をして、利用方法を改善すべき。足の障害等で座れない方のために、畳にマットなどを敷いて、パイプ椅子とトレニアを使えるようにしてはどうか
	1 障がい者就労の拡大を (1) 障がい者就労支援センターの現状と課題は (2) 庁内の障がい者雇用率の推移は (3) 庁内で実習訓練の場を提供し、就労を支援しないか (4) チャレンジ雇用や「地域開発促進コーディネーター」の設置は (5) 「障がい者優先調達推進法」をどう受け止め計画するか
田頭祐子	

紀由紀子	<p>1 防災対策の拡充について</p> <p>(1) 妊産婦・乳児に専用の避難所を設置しないか</p> <p>(2) 独り暮らしの高齢者等に、倒れた場合、迅速な救急活動につなげる、「救急情報ネックレス」を配布しないか</p> <p>(3) ヘルプカード（障がい者が、携帯し、いざという時に必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカード）を活用・周知しないか</p> <p>(4) 高校・大学と連携し、ボランティア等の協力をお願いしないか</p>
森戸洋子	<p>1 児童発達支援センターは、特別に支援が必要な子どもと親が安心できるセンターへ</p> <p>(1) 児童発達支援センターの事業内容について。市民参加での策定委員会を設置して策定すべきではないか</p> <p>(2) 子どもたちが安心して支援を受ける運営体制について</p> <p>(3) 事業内容について、見解を問う</p> <p>2 ココバス東町循環、中町循環バスについて、利用しやすい運行へ改善を</p> <p>(1) 東町1丁目内の運行は長年の願い。西側・東中学校周辺は十分に運行を</p> <p>(2) 中町循環バスの停留所の増設を</p> <p>(3) 今後の方向性について、市の見解を問う</p>
渡辺大三	<p>1 都市景観の向上について</p> <p>(1) 都市景観の向上について、日頃気になっている箇所の改善可能性を問う</p> <p>2 市民交流センターにおける公費投入事業の実態について</p> <p>(1) 仮オープン以降に実施済みの事業について、名称・入場者数・入場料収入・公費による赤字補填額はどうか</p> <p>(2) 赤字を垂れ流さないためのガイドラインはあるのか。ないなら早急に制定すべきではないか</p>
片山薫	<p>1 震災による避難者支援の現状は。「子ども・被災者支援法」が成立し、様々な団体が運用に関する意見を述べています。福島県は借り上げ住宅への支援を打ち切る方針を出してきました。被災者への支援体制を継続させるために小金井での避難者の把握、情報の提供がますます重要ではないでしょうか</p> <p>(1) 市内避難者の状況把握について。もとの居住地別の人数・住宅状況・生活状況等</p> <p>(2) 他市の社会福祉協議会などが行っている交流会などを参考に小金井ができる支援方法の検討はその後どのような状況か。当該者の意見の聞き取りはしているか。東京都との連携は</p> <p>2 消費者庁貸与の放射能測定器を十分に活用しよう</p> <p>消費者庁から貸与された放射能測定器は、現在は給食の測定にしか使用されていませんが、市民からの持ち込み食品や土壌の測定、また市民とともに運用することも可能です。これから長く続くことになる放射能測定です。他市を参考に、もっと測定器を使いこなせないでしょうか</p> <p>(1) 他市での測定器使用状況の把握について</p> <p>(2) 小金井市としての測定器活用の今後の展望は</p>